

コロンビアの最新動向(9月1日~9月15日)

I. 政治・経済

1. 8月のインフレはマイナス0.13%

- 9月1日、政府発表によると、8月のインフレ上昇率は前年同期比でマイナス0.13%となり、8月としては1988年来最も低い水準となった。
- 年間のインフレ上昇率は5.2%と前月に比べ0.6ポイント減少した。

2. 2007年上半期の輸出14.6%増

- 9月4日、政府発表によると、2007年上半期の輸出は前年同期比で14.6%増加し、132.2億ドルとなった。一方、同輸入は前年同期比で27.1%増加(143.4億ドル)、2007年上半期の貿易収支は11.3億ドルの赤字となった。
- 非伝統製品の輸出は62.3億ドルと前年同期比で19%の増加、自動車とその部品(44.2%)などが牽引した。一方、伝統製品の輸出は69.9億ドル、フェロニッケル(142%)、石炭(28.6%)を中心に10%の伸びとなった。主要輸出相手国のシェアは、米国(33.3%)、EU(16.8%)、ベネズエラ(14.4%)であった。
- 輸入は品目別で自動車とその部品(55%)、機械(42.2%)などが増加した。主要輸入相手国シェアは米国(26.3%)、メキシコ(9.4%)、中国(9.1%)であった。

II. 外交

1. カナダとのFTA交渉は第2ラウンドへ

- 9月4日、SNE報道によると、カナダとコロンビア・ペルーとのFTA締結交渉第2ラウンドが、カナダのオタワにて行われた。
- 今後カナダとのFTA交渉は10月上旬に予定されている第3ラウンド(於コロンビア)、11月中旬の第4ラウンド(於リマ)を経て、2007年12月末にも調印される見通し。

III. 石油その他の資源セクター

1. コロンビアとパナマ、送電網建設プロジェクトで合意

- 9月5日、鉱山エネルギー省の発表によると、コロンビア・パナマ両国は、2010年にコロンビア(Cerro Matoso)からパナマへ616kmの送電網を建設することで正式に合意した。
- 送電規模は当初300MWで将来は600MWまで拡大する計画。今後両国はプロジェクト開始に伴い、2008年2月を目標に必要な法令の整備を行う。
- プロジェクトコストは2.16億米ドル。この内1.1億ドルをコロンビア(主にISA)、1.06億ドルをパナマ(主にETESA)が負担する。2008年に資機材にかかる契約が締結される見通し。ENDESA、ISAgenも入札参加を検討している。
- コロンビアはこれまでエクアドルにも電力を輸出している。しかし、エクアドル政府のディーゼル奨励政策(補助金等)により、同国への電力輸出が44%減少、2007年6月の収益は249万米ドルと前年同期比で68%減少した。また、2006年エクアドル電力需要の10.8%を賅っていたコロンビアからの送電は、2007年8月には5.7%までシェアが縮小していた。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。